

ご 挨拶



第58回日本心血管インターベンション治療学会 北海道地方会
会 長 明上 卓也 札幌禎心会病院 循環器内科

2024年3月30日、第58回日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)北海道地方会を開催するにあたり、ご挨拶申し上げます。

2024年は、我々 CVIT 会員にとって、2つの大きな転換点を迎えます。一つは7月に2009年以来、15年ぶりに北海道で五十嵐康己会長のもと、第32回日本心血管インターベンション治療学会(CVIT 2024)学術集会が開催されます。まさに今、その準備が進行しており、充実のプログラムが作成されております。また、もう一つは4月からはじまる医師の働き方改革です。昼夜を問わずに診療にあたっておられる先生方にとって大きな問題であり、これには各領域との連携、協力が必要であるとともに、より一層の若手医師の参加が欠かせません。

そこで今地方会のメインテーマとして、基本に立ち返る、若手ドクターのさらなる参加をコンセプトに、教育的なプログラムの充実と JRA、SRA session の新設を考えました。

教育的プログラムとして、特別講演では宮崎市郡医師会病院の栗山根廣先生をお迎えして、PCIにおけるアキレス腱のひとつである石灰化病変治療についてご講演をいただきます。また、ランチョンセミナーでは角辻暁先生をお迎えして IVUS の基礎からご解説いただくとともに、TAVIに関する現状を道内の先生方にお話しいただきます。さらにアフタヌーンセミナーとして、いわき市医療センターの山本義人先生に EVT についてご講演をいただく、充実の内容となっております。

CVIT の存在意義である技術的な充実を図る意味で重要なライブについては、ビデオライブ形式で開催いたします。PCI では、我々の最重要課題のひとつである ACS 治療の選択肢として、レーザーアテレクトミーを中心に議論していきたいと思っております。EVT では悩みが尽きない浅大腿動脈治療をどうするか、皆さんで考えていければと思います。

さらに、今回新たな取り組みとして研修医セッションを新設致しました。残念ながら初期研修医部門(JRA: Junior Resident Award)についてはご応募いただけませんでした。後期研修医部門(SRA: Senior Resident Award)を当会の最終セッションとして設けております。CVIT 会員の先生方とともに、今後の CVIT 関連領域の治療への建設的な議論を目指します。

もちろん、従来通り40歳以下の若手の先生方を対象とした、地方会優秀演題(Young Investigator Award: YIA)セッションも設けております。症例検討部門・臨床研究部門より各1演題を推薦演題に選出し、CVIT 2024において、北海道代表としてご発表いただきますので活発なご討議を期待しております。

一般演題、メディカルスタッフセッションも多数の演題をご応募いただき感謝申し上げます。

CVIT 2024に向けて、今一度、基本に立ち返り、知識と経験、技術を整理、共有すべく、多数の会員の皆様とともにディスカッションしつつ、実りある地方会となることを願っております。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本会開催にあたり多大なご尽力を賜りました支部役員、会員、事務局、ご協賛いただいたみなさま、及び関係諸氏に、この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。